



駒澤会だより

第29号

2018年 7月25日
駒澤大学駒澤会発行



会長挨拶

駒澤会会長 森屋 正治

盛夏の候、皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は私ども駒澤会に対しまして、格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、駒澤会の本年の活動を振り返りますと、2月には渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにて「新年賀詞交歓会」が盛会裏に行われ、3月には、駒澤大学待望の新校舎「開校130周年記念棟種月館落慶式」に私はじめ役員一同が出席し、同じく3月23日、24日の卒業式に出席、また、新規会員の勧誘活動を行い、5月には委員総会、6月には「初夏の親睦会」として「種月館見学ツアー」を実施するなど、活発に活動し、会員相互の交流を深めて参りました。さらに、今後、8月には「教育後援会との懇親会」、11月には一泊二日の「秋の研修会」、12月には「駒澤会忘年会」など、さまざまな催しを企画する次第でございます。

各種企画を開催するにあたっては、名誉会長である池田総長、名誉副会長である長谷部学長をはじめとする大学当局の皆さま、教育後援会、同窓会の皆さま、そして駒澤会会員の皆さまにはご多忙の折、万障繰り合わせてのご参集を賜り、あらためて感謝の意を心より表す所存でございます。また、今後の開催企画につきましては、役員一同皆さまのご参加をお待ちしておりますので、会員の皆さまとお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

駒澤会は、本年で発足より47年を迎えます。現在およそ170名の会員の方々に支えられております。そのおかげをもちまして、毎年行っている「駒澤会奨学金」もこれまでに1,100人を超える奨学生を送り出すことができました。これもひとえに会員の皆さまの「駒澤愛」の賜物であると感謝にやみません。

「駒澤大学」をきっかけにできた「縁」をいつまでも絶やさずに、これからも役員一同、会員の皆さまのご協力をいただきながら、この駒澤会が「エンドレス」な会として活性化していくように邁進する所存でございますので、これからも皆さまのお力をお貸しくくださいますようお願い申し上げますとともに、魅力ある会の運営を皆さまに誓い、ご挨拶にかえさせていただきます。

平成30年度 駒澤会委員総会・懇親会報告

日 時： 平成30年 5月19日（土）
会 場： 駒澤大学深沢キャンパス
委員総会 講義室2-1 / 懇親会 洋館小ホール
出席者： 委員総会 25名 / 懇親会 34名

平成30年度委員総会では冒頭、駒澤大学の長谷部八朗学長より130周年記念棟建設基金への寄付金に対する御礼があった。その後、駒澤会・森屋正治会長の議事進行の下、平成29年度各部活動報告・決算・基金管理と会計監査、および平成30年度各部活動計画・予算案、役員選任などが審議され、すべての議案が満場一致で滞りなく承認された。役員選任では森屋会長が再任され、「この2年で入会者が増え始めており、今後さらなる入会者増を目指す」との表明があった。

委員総会終了後は、大学から長谷部学長ほか日笠完治副学長、徳本克彦財務局長、教育後援会から平島章会長ほか計6名と新入会者も加わり、盛大に懇親会を開催した。1週間前に就任したばかりの教育後援会平島会長からは「駒澤会との連携を強化していく」との心強い挨拶があった。森屋会長の言葉を借りると「駒澤会はエンドレスの会」であり、大学および学生の皆さんを生涯応援していく会としての存在を全員で確認した。ほとんどの皆さんが二次会に参加するほどの盛会で、6月9日（土）に開催する「初夏の親睦会」（厚生部担当）での再会を誓い合った。



総務部

堀 純一郎



駒澤会新役員紹介

役員任期：平成30年5月～平成32年5月



会 長
森屋 正治



副会長
一戸 隆男



副会長
三崎 章子



副会長
赤堀 菊絵



監 査
市川 よし子



監 査
久野 文代



監 査
木村 朋子



総務部長
山田 直重



総務部副部長
堀 純一郎



総務部副部長
軽部 雅美



広報部長
荒井 喜久子



広報部副部長
村田 保廣



広報部副部長
齋藤 和子



厚生部長
滝沢 憲示



厚生部副部長
三浦 ひろ子



厚生部副部長
楠 有紀子

平成30年度も教育後援会の会長・副会長に参与をお勤めいただきます。

【駒澤会】参与のご紹介



教育後援会会長
参与 平島 章



教育後援会副会長
参与 大山 真護

駒澤大学駒澤会 新年賀詞交歓会の報告



総務部長 山 田 直 重

平成30年2月12日(月)の午後6時30分より渋谷のセルリアンタワー東急ホテル39階タワーズサロン「ソレール」で駒澤会新年賀詞交歓会が開催されました。セルリアンタワー東急ホテルでの駒澤会新年賀詞交歓会は2012年から7度目と回を重ねています。

会が始まる頃は、ちょうど夕闇せまる茜色の空に浮かび上がる丹沢の山の稜線の中央に富士山がくっきりと影富士の黒い姿を見せていました。山並みを越えた遠く北陸地方では近年に無い大雪とのニュースが流れており、その地に暮す方々のご苦労への静かな想いも心に抱くセルリアンタワーホテル39階からの眺めでした。

定刻を過ぎると田中隆一駒澤会副会長が司会を務められ駒澤会新年賀詞交歓会が始まりました。まず駒澤会森屋正治会長がご挨拶をされました。今後、大学支援並びに学生支援の力を大きくするためにも駒澤会の会員数を増やしたいと述べられました。駒澤大学では完成した創立130周年記念棟の利用が開始されるとのお話もありました。次に駒澤会名誉会長の池田魯参駒澤大学総長がご挨拶をされ、「昨日は長野に居て体調も悪かったのだけど新年賀詞交歓会出席のため出てきました。」と述べられました。その後にご挨拶の長谷部八朗学長からは「他の大学に、駒澤会のような学生が卒業した後その保護者が活動する会があるのか調べてみたい。」とのお言葉と共に駒澤会に対する称賛のお言葉を戴きました。

ここで大谷哲夫駒澤会元名誉会長がご挨拶をされ、続けてご発声を戴き乾杯を致しました。

今年の駒澤会新年賀詞交歓会には久保田昌希前副学長も駒澤会に入会いただいております。ここから暫くお食事とご歓談の時間となりました。この時間の中で駒澤大学教育後援会の正田賢司会長や駒澤大学同窓会の大場やすのぶ副会長をはじめ大学を代表する方々の来賓挨拶が続きました。近年、奨学金は奨学金の名を借りた学生ローンだと言われその後の学生を苦しめる結果をもたらす事例が生じている等と問題点がクローズアップされています。駒澤会では奨学金給付での学生支援を行っており、それに対し多くの方々から感謝のお言葉を戴きました。

本会最後の時間は年の平安とお集まりの皆様及び駒澤大学の発展を祈念し森屋会長が音頭をとられ三本締めでお開きとなりました。今年も変わらず駒澤大学のもとに支援団体として同窓会、教育後援会、駒澤会の3団体が並びあることを印象づける和やかな駒澤会新年賀詞交歓会でした。



駒澤会新年賀詞交歓会に参加して

教育後援会前副会長

駒澤会 松田素子

昨年に続いて今年も渋谷の「セルリアンタワー東急ホテル」で駒澤会新年賀詞交歓会に参加させていただきました。

駒澤会の皆様には教育後援会が常日頃より大変お世話になっております。

新年賀詞交歓会には、大学より池田魯参総長、長谷部八郎学長をはじめ多くの皆様、同窓会より、大場やすのぶ副会長が参加され、あらためて駒澤大学を支える駒澤会、同窓会、教育後援会という三本の矢の結束を感じました。

美味しいフランス料理のフルコースをいただきながら、皆様とお話しをしたりビンゴ大会を楽しんだり、あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

駒澤会の皆様のお心遣い、優しさ、そして駒澤大学を大切に思う気持ちが伝わってくるとても素晴らしい会でした。

このような会に参加できた事は私にとって素晴らしい経験でした、有難うございます。

皆様とのご縁を大切にこれからも活動してまいりたいと思っております。

駒澤会の皆様の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。



「箱根駅伝」応援



厚生部部長 滝沢憲示

1月3日、駒澤会で「箱根駅伝」の応援に行きました。

東京駅から歩いて約15分の常盤橋の応援場所に着いたら、「駒澤大学」の旗が沢山立っていて、教育後援会の人が多勢集っていました。先頭の選手が横浜駅前を走っている頃でした。教育後援会の人から、応援用の小旗・帽子・手袋等を貰って、森屋会長・山田総務部長・堀総務部副部長等と話をしたり、ラジオの実況中継を聞いたりしながら選手が来るのを待ちました。やがて、白バイに先導されて選手が走って来ました。各校の選手が前を走る度に、「駒澤大学」と書かれた小旗を頭上に掲げて応援しました。7・8番目を走っている選手だったでしょうか、選手が二人横に並んで競い合いながら走って行きました。駒澤大学は往路13位でしたが、復路頑張って12位に順位を上げました。

何年か前に駒澤大学が優勝した時、テレビインタビューを受けた選手が、「私のような、高校時代無名の者が優勝できたのは、大八木監督のおかげです。」と話していました。ただ勝つことだけでなく、負けた時も選手達に大切な事を教えて下さっている大八木監督を尊敬しています。

選手達が練習を重ねて臨む秋の予選会も、応援に行きたいと思っています。



快走する高本主将



中西選手から工藤選手
への襷リレー

【写真提供：駒大スポーツ】

【第95回東京箱根間往復
大学駅伝競走予選会】

平成30年10月13日(土)

陸上自衛隊立川駐屯地

～

立川市街地

～

国営昭和記念公園

卒業式当日の勧誘活動について



総務部 堀内 和代

3月23日（金）、卒業式の初日に、卒業生の保護者の方々に向けて、駒澤会入会の案内をPRする活動に参加しました。

卒業式式典の様子を別室のライブ会場にて、モニターで観終え退出されてきたご父母の方々へ、駒澤会のパンフレットをお配りしました。

ご父母の皆さまの反応は様々で、「もう入会していますよ」とおっしゃってくださる方もいたり、関係ないわと相手にされなかったりといろいろですが、中にはその場で申込書を記入してくださる方もいらっしゃりびっくり！とても嬉しくなりました。

子供が卒業したあとも、奨学金を出すことがメインですが、他にも大学との繋がりがあるこの「駒澤会」はとても素晴らしい会なので、たくさんの方が参加、入会していただけることを願っております。



入会勧誘のお願い

駒澤会は学生への奨学金支給を継続するため、入会勧誘活動を継続しております。しかし、近年は入会者が減少しており、収支において支出超過が続いております。会員皆様のお近くに駒澤会に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、駒澤会事務局までご一報をお願いいたします。皆さまの勧誘活動へのご協力、何卒お願いいたします。

事務局 TEL 03-3418-9189/FAX 03-3418-9190



会員紹介 安本麻美さん

今回紹介するのは、曹洞宗亀王山「太岳院（たいがくいん）」のご寺族である安本麻美厚生部委員です。

秦野駅に程近い、閑静な住宅地の一角に建立されている「太岳院」。門前の立派な鐘楼には江戸時代に造られたという大きな釣鐘が掛っています。境内からは遠く富士山が眺め

られ、隣の大きな湧水池と相まって神秘的な感動を覚えます。この土地で、安本さんは生まれ育ちました。

ご住職であったご主人とは、ご主人が大学の卒論で道元禅師についての研究をされて仏門に入られたのがご縁となり、ご結婚されたそうです。

暫くは都内で生活されていたそうですが、お子様たちの成長を考えて、環境の良いこの地に戻って来られたとのこと。それからは、出来る限り地域に関わりたくと、ご主人はPTA活動なども率先して引き受けられていたそうです。



時代の流れで本堂の建て直しが必要になったのですが、地域の防火計画により従来のような歴史と伝統ある建物が建てられないことを知った安本さん。困り果て友人に相談したところ、あの有名な建築家である安藤忠雄氏と出会います。この土地は縄文時代の遺跡が発掘されるような歴史もあり、富士山と湧水という自然にも恵まれているので、それらを建物に自然に調和させた新しい形の寺院にしようとして安藤氏のひらめきが生まれました。

周りからの反対もありましたが、今では近代的なスタイルに若い方も惹きつけられ、また段差のないバリアフリー対応にお年寄りも自分の足で参拝することができ、自信を取り戻す手助けができています。

「今まで夢のように心の中で思っていたことが、建築を通して形として表わすことが出来ました。古いものを受け継いで、伝承していくのも大事なことで、また時代に沿って新しく形を変えていくことも大事なことです。」と安本さんは語ってくれました。

ご主人と二人で思いを込め作り上げた新生「太岳院」でしたが、その数年後、ご主人は旅立たれてしまいました。

現在は安本さんが、近隣の方丈様の手助けを借りながらお寺を守っています。修行から帰ってきた息子さんがお寺の住職になる日を心待ちされているようでした。



駒澤大学開校130周年記念棟「種月館」運用開始

駒澤会事務局

4月1日より待望の新校舎「駒澤大学開校130周年記念棟種月館」の運用が始まりました。事務局より、新校舎の紹介をさせていただきます。

1階には新しい学生食堂「Kitchen 駒膳」がオープン。ワンコインステーキでおなじみの「銀座スエヒロカフェテリアサービス」が引き続きメインの食堂にて出店し、新たに本格さぬきうどんで有名な「丸亀製麺」と焼きたてベーカリーの良い香りが広がる「ヴィ・ド・フランス」の2店舗がオープンしました。いずれも大学での出店は初めてです。以前の食堂に比べ座席数も増え、お昼時のみならず学生たちの憩いの空間になっています。

種月館のなかには、学生たちが空き時間に自由に談話したり、くつろいだりすることのできる「ラウンジ」がたくさん設置されました。休み時間や授業の後など、のんびりと過ごす学生たちの姿が見られます。

4階には主にキャリアセンターの「合同企業説明会」や国際センターの「留学フェア」、サークルの演奏会や学会等、さまざまな催しを行える「種月ホール」とPC環境を整えた教場や学生がゼミなどのグループで、PCを利用しながら討論や調べもの、プレゼンなどを行える「情報グループ学習室」などがあります。

低層棟の5階にあたる屋上には、人工芝の緑があざやかな「空のテラス」があります。これもまた今までの駒澤大学にはなかった空間です。青空とさわやかな風につつまれ、学生たちの気持ちもリフレッシュ間違いなしです。

地下1階には、このたび「医療健康科学部」と「バリアンメディカルシステムズ社」が産学連携事業を締結し、最新放射線治療機器「リニアック」の設置が実現しました。これからのがん治療を担うべく高い技術を持った診療放射線技師を駒澤大学から世に送り出します。

開校130周年記念棟の建設にあたっては、駒澤会より1,000万円もの寄付を頂戴いたしました。おかげさまでこうして学生の使用も始まり、無事新たな駒大のシンボルとして「種月館」が発進いたしましたこと、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



本部棟からの種月館



Kitchen 駒膳



リニアック

駒澤会奨学金の給付について

平成30年度、下記のとおり奨学金が支給されました。

支給金額 : 総額 400万円 (20万円×20名)
授与式 : 平成30年 7月11日 (水)
式場 : 3号館 (種月館) 9階 9-904教場
出席者 : 長谷部学長、猿山副学長、森屋会長、荒井広報部長、事務局

※詳細は、「駒澤会だより第30号」および駒澤会 HP でお知らせします。

基金管理委員会からのお知らせ

基金管理委員会では、昨年度の活動として、基金の運用・管理をベースに「基金管理の基本方針の検討・確認」、「会報を通じて運用状況の報告」を実施して参りました。

今年度も引き続き、会報による運用状況の報告を考えておりますが、基金の運用・管理につきまして 会員の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

駒澤会基金運用状況のお知らせ

運用先	4～7月までの利金	備考
野村証券	19,901円	みずほ・三菱UFJ社債
みずほ銀行	1,694円	定期預金利息
世田谷信用金庫	0円	定期預金利息
合計	21,595円	

基金管理委員長

訃 報

長年にわたり、駒澤会の運営にご尽力いただいております前監査人の

鈴木康元 様が、平成30年1月ご逝去されました。

鈴木様は、2002年に入会され、広報部委員としてご活躍、2012年からは監査人に就任され、長い間、駒澤会を支えてくださいました。心よりご冥福をお祈りいたします。



各部入部のお誘い

会員の皆様へ

会員としてご登録いただいている皆様に、各部への入部をお誘いしています。会の運営を3つの部に分かれて担当していただくこととなりますが、近郊の方または遠方の方でも2～3カ月に一度の会議に出席いただける方は是非ご検討ください。

皆様の入部をお待ちしています。希望される場合は、事務局：日幡^{ひばた}までご一報ください。

総務部

駒澤会の規程や運営費について検討し、駒澤会の活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。女性もたくさん活躍しています。

広報部

会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、率直に意見を出し合い、和やかに進めています。

厚生部

行事の準備で会員が楽しく有意義な時間を過ごせるよう活動しています。旅行好きな会員も多いため、なかなか訪れる機会のない場所などを考え活動しています。

TEL : (03) 3418-9189 FAX : (03) 3418-9190

入会者芳名

駒澤会にご入会いただきまして感謝申し上げます。

ここに、新たにご入会いただいた皆様のご芳名を掲載いたします。

* 今回の発表は平成29年12月1日から平成30年6月末日までにご入会いただきました方を対象としております。

* 対象期間にご入会いただいた方のうち、本紙への掲載について、同意をいただいた方のみ掲載（不同意の方と連絡が取れなかった方は匿名）とさせていただきます。

田原 豊三 様	武原 永滋 様	近藤 隆次 様
内山 健一 様	佐藤 克彦 様	丸山 文 様
猿山 義広 様	千葉 貴広 様	大喜多俊彦 様
山口 栄二 様	森田 孝之 様	佐藤 秀雄 様
真木江里子 様	鶴見 祥彦 様	山本久美子 様
匿名 14名		

編集後記

平成30年度は政治的、社会的にいろいろと問題が多い年のようです。駒澤大学は、新校舎ができただけでなく、歴史と伝統もあり安心です。私たち「駒澤会」も会員が増え、奨学金も未来ある学生たちに役立っています

来年度には年号も変わります。駒澤大学にもますますの発展と世界へと羽ばたく学生たちの輩出を期待しています。

また、このたびの7月豪雨により被災された方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。



「会員紹介」取材にて

広報部部長 荒井喜久子

事務局からのお知らせ

【大学行事予定】

8月 1日（水）～ 9月15日（土）
夏季休業期間
9月17日（月） 後期授業開始日
9月22日（土） 9月卒業式
10月15日（月） 第136回開校記念日
11月 3日（土）～4日（日）
オータムフェスティバル

【駒澤会行事予定】

10月20日（土） 役員会
11月10日（土）～11日（日）
駒澤会秋の研修会（※）
12月15日（土） 駒澤会忘年会

※案内を同封しております。多数のご参加をお待ちしております。

駒澤会だより 第29号

発行日：平成30年7月25日
発行者：駒澤大学駒澤会 広報部
154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1
TEL：(03) 3418-9189
FAX：(03) 3418-9190

駒澤会ホームページ<駒澤大学HP内>

<https://www.komazawa-u.ac.jp>
→ 在学生父母の方をクリック
→ 駒澤会をクリック

駒澤大学
駒澤会

